

# 本庄東高等学校

## ボランティア部

高校生ボランティア・アワード2024

### 春の寺子屋体験

#### 活動概要

～寺子屋体験の企画！子供達と一緒に全力で楽しむ！～

ほんじょう寺子屋とは？

ほんじょう寺子屋というのは本庄市内に住んでいる小学生の子供達が放課後に集まる場所で高校生、大学生ボランティアと一緒に遊んだり、お話をしたり、勉強をしたりする場所です。また、春休み、夏休み、冬休みなどの長期休暇には、寺子屋体験というものがあり、約1日子供達と本庄市内のお寺でボランティアの人達が企画したもの(遊び、勉強)をして、楽しく1日を過ごします。そこで、本庄東高校のボランティア部の私たちが今まで、春、夏、冬、の寺子屋体験、第一、第三、土曜日に行われる皆んなの寺子屋(学習支援、ボランティアの講座、遊び、野外活動)にボランティアとして参加させていただきましました。今まではお手伝いという形で参加させていただいたのですが、春の寺子屋体験では初めて高校生だけで企画を行いました！初めての企画で、なかなか思うようにいかなかったり、心がくじけてしまいうような事もたくさんありましたが、放課後や日曜日に集まって、互いに助け合いながら企画を立てたり、買い出しに行ったりしました。

寺子屋体験当日はとても緊張したのですが子供達の笑顔や楽しんでいる姿にとても元気をもらいました！これからも、今の私達にできる事を考えたり、積極性を持って寺子屋に携わってまいります。ここで私達が企画した三つものものを紹介します！

#### ①ケーキ作り

お昼ご飯と午後の企画が終わり、ケーキを自由にデコレーションして食べました。ボランティア同士での打ち合わせ、試作段階ではバナナスペシャルを使おうと考えましたが甘すぎてスポンジケーキになりました。



#### ②春に関連付けたイースターエッグ作り

アルミホイルを卵形にして紙粘土で包み込み絵の具で色をつけ、そこにシールやモール、ビーズなどでデコレーションをし、イースターエッグを作りました。それぞれの個性が生かされた世界に一つだけの作品ができました！



#### ③折り染体験

「つくる」がテーマということで少しでもこのあたりのことを知ってほしいということで折り染体験を企画しました。さまざまな形に折りたたみ輪ゴムで括ったハンカチをアルカリ絵の具を溶かした水につけてオリジナルハンカチを作りました。



### 子供たちに未来を創り出す力を

#### ほんじょう寺子屋とは

「子どもたちに未来を創り出す力を」を理念に掲げ学生達を主体に多くの出会いと体験を通して失敗を経験し自ら考え悩み、仲間を信じる心、自分を信じる心、思いやりの心。心の豊かさを育むことを目的として本庄市をもっと笑顔溢れるまちにするために活動している学生主体のまちづくり団体です。

子どもたちの純粋な心が子どもたちの笑顔がまちを元気にしてくれる。人は出会いと経験で成長できます。人と出会い、共に考え学び、笑うことで絆が生まれます。その絆は未来への希望です。日本の原点である教育を通してまだない出会いを提供し、今を生きる力を育めるそんな居場所を創りたい。

#### 笑顔が未来を創る

笑顔には人を幸せにする力があります。嬉しい時、楽しい時、喜んだ時、笑顔には色々な理由がありますがそれはどれも前を向いています。豊かな未来を創るために子どもたちの笑顔が絶えない環境が必要です。

#### 子供の未来を広げる

無限の可能性を秘めている子どもたちに多くの出会い、体験、失敗を通して子どもたちの考える力や人との繋がりが子供達の未来は広がるはず。子供達が目を輝かせ、わくわくする、好奇心旺盛な子供を育てる環境が必要です。

#### みんな平等

どんな時代でも子供達はみんな平等であるはず。それは教育格差が生まれている現代でも変わりはありません。だれもが夢や希望を抱ける、教育環境がこれからの時代に必要です。

#### 信じる力を育む

10年先はどんな未来？寺子屋では多くの失敗と経験をさせていきたい。目まぐるしく変化する現代でどんな時代の変化にも自ら考え、対応できる。そんな自分を信じる心を育む環境を創ります。

### 高校生大活躍！

#### 打ち合わせ

今回は高校生が企画を1から考えて春の寺子屋を実行しました。その中でも一番心に残っている言葉は「イメージ」です。企画を立てるのは簡単なことだと思っていたのですが、先輩方から子供達は思いもよらない行動をする。例えばバケツを振り回したり、走り回ったり、急に別のことをしだすなどを聞きました。そこで私達は、本番子供達がしそうなことをイメージしながら企画を立て、道具の準備をし、本番を想定した試作作りを行いました。イメージ→実行これはあらゆることに通じることだと思いますなにか挑戦しようと思った時に大切なのはイメージだということを実感させられました。そして、学んだことはもう一つあります。それは人間の意思疎通の大切さ、難しさです。皆知っているだろうという思い込みで試作作りでの集場所や時間の連絡を怠ったり、お互いに伝えたいことを言葉するのが難しいということを強く実感しました。ですがこれもイメージに帰着すると思います。相手の考えや動きをイメージし、相手に寄り添うことで、すれ違いが減るのではないかと思います。私達は人生における「イメージ」の大切さを学びました。これからの寺子屋でもこのイメージを活かして子供達が安全に楽しく、過ごせる企画を考えてまいります。



#### 本番

本番は打ち合わせもイメージも行ってたので順調に進むと思っていたのですが、そうはいきませんでした。本番ではイメージしていなかった事も起き、特に午前中はパニックになってしまい、注意事項を伝え忘れるなどのミスをおかしてしまいました。私達が不安になってしまったり、焦っていると、子供達も戸惑ってしまいます。そこで大切だと思ったことは「実行」です。本番一発勝負ではなく、はじめから通してリハーサルを行う事でよりスムーズな進行ができると思います。今後もイメージ→実行(リハーサル)などを活用したり、急なハプニングにも対処できるような経験を積んでいきたいです。



#### 反省会

ほんじょう寺子屋では寺子屋体験が終わったその日に1時間弱、反省会をします。当日に参加したボランティア一人一人が、感想や反省点を考え共有するための時間です。春休みの寺子屋体験では私たち高校生が主に企画、運営を行ったため、先輩たちからのアドバイスや当日の自分を客観的に振り返り、次の寺子屋体験に生かせることは何か深く考えさせられました。もっとこうすれば良かったなどネガティブな反省点だけでなく、前回できなかったことが今回は出来たと成長も実感出来る大事なミーティングのひとつです。



### 寺子屋から農業へ

今年度から新たにほんじょう寺子屋×農業の事業が始動します。農業を企画した理由はほんじょう寺子屋で子供達と関わる中で、小学生である子供達が自分のスマホを持っていて、スマホに夢中で外へ出て遊ぶことが少なくなっていると感じたことがきっかけです。農業を通して自然と関わる事で、スマホから離れデジタルデトックスを図れるのではないかと考えました。また、親子で参加できるようにする事で家族とのコミュニケーションも取れ、友達同士で参加して楽しく農業できるのではないかと思います。新たなことにも挑戦してほんじょう寺子屋を、本庄市をもっと笑顔で溢れるまちにするために頑張ります。



#### 取り組んでいるSDG目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 本庄東高校ボランティア部～笑顔溢れる本庄市に！～

私たちボランティア部は毎週金曜日に活動しています。活動内容は校内清掃やキャップ回収、赤い羽根募金、暑中見舞いなどのハガキの作成、課外活動です。今年度からは、季節の折り紙づくり、本庄市内の老人ホームに寄付する活動も行う予定です。課外活動は主に土曜日、日曜日ほんじょう寺子屋にて子供たちと公園で遊んだり勉強を教えたり、春休みや冬休みの寺子屋体験に向けての準備をしています！本庄市を笑顔溢れるまちにするためにこれからも様々な活動に取り組んでいきます。